

いわき「ターニング・ヴィジョンズ」映像制作ワークショップ作品 上映会と義援金のお願い

東日本大震災で被災された方々へ謹んでお見舞いとお悔やみを申し上げます。

この未曾有の事態を前にして、我々「ターニング・ヴィジョンズ」有志は、昨年10月から12月の3ヶ月間に被災地の一つである福島県「いわきアリオス」にて実施された映像制作ワークショップ「ターニング・ヴィジョンズ」完成作品4本の上映会により、同地区への義援金/活動支援金を集めたいと思います。

このワークショップには、いわき、南相馬、北茨城から集まった学生、会社員、自称フリーター、主婦などの一般のひとびとが参加しました。ほぼ初めての映像制作で彼らは4チームにわかれ、各々の日常からテーマを見つけて自分たちの郷土を舞台にドラマを活写した作品をつくり上げました。地震が発生する半年ほど前の風景と、その地に暮らす人々のかけがえのない日常が映しこまれた4作品です。初めての公開上映は、2月に開催された「いわきぼうけん映画祭」でした。

今回の地震で参加者のほとんどの方が被災しています。我々有志は、手元にあるこれらの映像作品の上映を通して、彼らのふるさとや家族への思いを多くの人と共有するきっかけにしたいと考えました。そして鑑賞の対価としての義援金を募ることにより、彼らといわきを支援する形になればと強く願っています。

「ターニング・ヴィジョンズ」有志 (岩井成昭、伊藤忍、坂口千秋)

【作品介绍】

『Mambo de Alios～出会いのプレリユード～』 12 min.

制作:押田優子、島崎圭介、高橋綾

出演:横山晋三(いわき小劇場)、寺島恵実(劇団ギャング団)



サイレント映画風に男女の出会いと、ひょんなことから暴走する男の妄想を描く。
ロケ地「いわきアリオス」は現在市内の主要避難所として3月16日現在約200名が避難している。

『セカンドライフ』 14 min.

制作・監修:AKA3(池亀彩、国府田賢司、暁)

*「ショートショートフィルムフェスティバル&アジア」出品作品



親父3人組のちょっと風変わりな友情物語。ロケ地はいわきと北茨城市。

『susiki』 9 min.

監督:タカダクコ/長谷川好美

制作:鈴木まなみ

プロデュース:小松ひろみ



三世代の異なる三つのエピソードを通して、成長することとは何かを問う。
第二、三話の舞台となる住宅は津波の深刻な被災地で、福島原発から半径30km内の避難地域・南相馬に立地。

『3・5・8』 7 min.

監督:三原由起子

企画・制作:プロジェクト358(三原由起子、篠崎哲也、岡崎和彦)



「ご当地名物三五八漬」の魅力を通して、郷土愛に目覚める女性ロッカーのPV風作品。
原発から10km以内の浪江が作者の故郷後半では、いわき市内の名所がフラッシュバックする。

皆さまからの募金は、なるべく映像作品作者たちの地元が届くようにしたいと考え、義援金受付窓口を開設している下記への寄付を予定しています。

1. 「東北地方太平洋沖地震いわき市義援金」<<http://www.city.iwaki.fukushima.jp/topics/010351.html>>

いわき市に開設された義援金受付窓口です。義援金は、被災された方々に対する生活支援、並びに災害復旧及び復興に活用されます。なお、生活支援にあたっては、いわき市義援金配分委員会により公平に配分が決定されます。

2. 「社会福祉法人茨城県共同募金会」あるいは「大好きいばらき応援サイト」を通じて茨城県か北茨城市へ。

3. 南相馬市に直接寄付する窓口が現時点で見あたらないため、「福島県災害対策本部」へ。

*税金の控除を必要とされる方は、直接上記窓口にご送金ください。控除対象の領収書が各機関から発行されます。

*上映会毎の募金額、各機関への送金額などは随時 <<http://p3.org/tv/>> にて、ご報告いたします。

上映会および寄付に関するお問い合わせ、連絡先:

東京都新宿区左門町14番地 THビル201

P3 art and environment 担当:伊藤忍 tv@p3.org